

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月17日

計画の名称	安全・安心で快適な都市環境の創造（防災・安全）（第2期）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	赤穂市												
計画の目標	赤穂市地域防災計画で一時避難所として指定されている都市公園の整備及び都市公園の遊具・施設を更新することにより、安全・安心で快適な都市環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	185	A	185	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （R3当初）	中間目標値 （R5末）	最終目標値 （R7末）
1	赤穂市都市公園における長寿命化計画において見直しを行い、計画に基づいた維持管理を行う公園を100%にする 都市公園（50公園）のうち、50公園について長寿命化計画を策定する。 （計画に基づいた維持管理公園率）＝（長寿命化計画策定公園数）／（都市公園数）	0%	100%	100%
2	供用開始都市公園の遊具における更新等整備率を75%（R3）から85%（R7）に増加 令和2年度末に現存する都市公園遊具に対し、改築、更新等整備を行った遊具数により更新等整備率を算出する。 （更新等整備率）＝（改築、更新等整備を行った遊具数）／（令和2年度末に現存する都市公園遊具数）（%）	75%	80%	85%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	赤穂市公園施設長寿命化 計画策定	長寿命化計画の策定（50公園 ）	赤穂市	■					19	—	
	A12-002	公園	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	赤穂市公園施設長寿命化 対策支援	赤穂城南緑地等50公園におけ る野球場・テニスコート・遊 具・施設の改築・更新	赤穂市		■	■	■	■	166	策定済	
											小計							185	
											合計							185	

交付金の執行状況

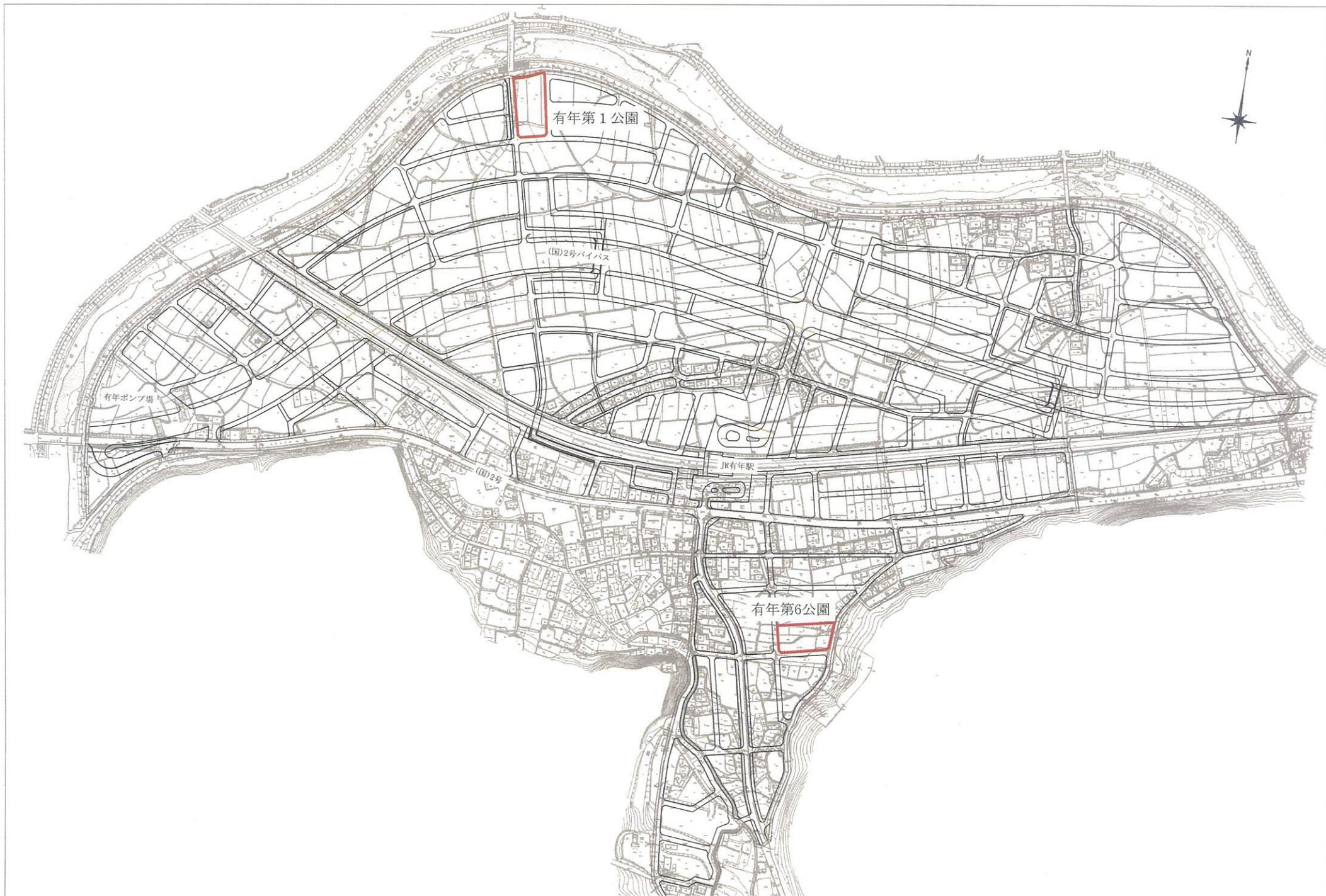
(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	9				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	9				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	9				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	令和3年度～令和7年度（5年間）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	赤穂市





有年第1公園

(国)2号バイパス

有年ポンプ場

(国)2号

JR有年駅

有年第6公園

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心で快適な都市環境の創造（防災・安全）（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○